

2021年2月12日

各位

会社名 佐世保重工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 名村 建介  
問合せ先 総務部長 廣津 忠  
(Tel 0956-25-9111)

### 当社事業の再構築および希望退職者の募集について

当社は、本日開催の取締役会において、新造船事業を休止し艦艇修繕および機械事業への経営資源の集中を柱とした事業再構築を実行することを決議いたしました。また、この再構築に伴い希望退職者の募集を行うこととなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業再構築について

新造船事業の事業環境は、「海運・造船バブル」とも呼ばれる2007年前後に大量発注された新造船が2010年以降の3年間に順次竣工し2011年の商船建造量が過去最高になるなど、2008年後半以降の金融危機による新造船発注量の激減にもかかわらず船腹量の増加ペースは衰えず、船腹の需給ギャップ拡大による過剰供給が常態化し、新造船需要と価格の低迷が長期化いたしておりました。こうした状況を受けて中韓政府は造船業支援を強化しましたが、これらの支援策が船腹量の需給ギャップ拡大と新造船価格の低迷を更に長期化させたとも言えます。しかしながら、海運市況が好転するなど漸くにして船腹量の需給に改善の兆しが見え始めた昨年初めに新型コロナウイルス感染症が世界的に急拡大し、世界の経済活動縮小により海上輸送需要が落ち込んだ結果、新造船需要は急減し、日本の2020年の受注量は2019年比でほぼ半減、2年半程度が適正と言われる受注残は1年程度に落ち込み、中国造船所の安値攻勢もあって船価も下落いたしました。

このような厳しい環境の中、当社の中核事業であり雇用面など地元経済に与える影響も非常に大きい新造船事業継続に向けて、親会社である株式会社名村造船所の支援を受けて老朽設備の更新・整備、要員の派遣、生産システムの近代化、株式会社名村造船所の伊万里事業所との一体運営など、様々な手段を講じてきましたが、受注環境が一段と悪化して受注残が急激に減少した上に、内外の新鋭造船所に比べて大きく見劣りするコスト競争力を短期間に改善させることが困難であることから、当社が生き残り地元経済・雇用に貢献していくための抜本的な事業再構築を検討してまいりました。

その結果、当社の強みであり海軍工廠の発足時から主要業務としてきた艦艇修繕船事業を柱とし機械事業との両輪による強みを生かした安定収益体質の構築を図り、既受注船の最終引渡（2022年1月予定）を以って新造船事業を休止することを決定いたしました。この再構築の実行により新造船事業から艦艇修繕および機械事業への経営資源の再配分を行うとともに、全社的な固定費圧縮を断行し収益の改善と安定収益体質の確保に努めてまいります。

現在建造中の案件については、引き続き株式会社名村造船所の支援の下、当社の総力を挙

げて完工させ、引き渡し後のアフターサービスについても、これまでと同様に両社が責任を持って対応して参ります。

## 2. 希望退職者の募集について

今回の事業再構築においては、当社内の新造船事業部門の従業員の艦艇修繕船事業部門への配置転換や株式会社名村造船所への出向・転籍などの経営資源の再配分を実施しますが、新造船事業の全従業員の再配置先を確保することは困難である事に加え、今後の収益力強化のためには全社的な固定費削減が不可欠であり、苦渋の決断とはなりましたが希望退職者の募集を行う事と致しました。

(当社および当社子会社における希望退職者の募集の概要)

(1) 募集人員	250名(予定)
(2) 募集期間	2021年5月6日～2021年5月21日(予定)

以 上